

3 研究の手だてと実践

手だて① 『本当に伝えたいこと』を表現し合う言語活動

2年生 文ぐを買いに行こう

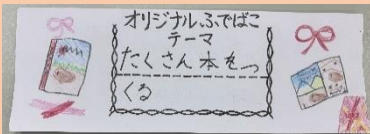
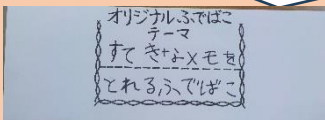
動機付けとなるゴール設定

単元のゴール：テーマに沿った自分のオリジナルの筆箱を作る。

指導の工夫：子どもたちが『本当に伝えたいこと』を表現し合えるように「どのような筆箱を作りたいか」自分なりのテーマを決めさせた。子どもたちの想いを表出させ、各時間の学習への動機付けを図った。

主な成果：自分で決めたテーマに沿ったオリジナルの筆箱を作るために、各時間のアクティビティに意欲的に取り組むことができた。最後には、単元のゴールに向かって慣れ親しんできた語句や表現を活用し、できあがった筆箱を友達に紹介することができた。

どのような筆箱を作りたいか、子どもたちの想いが表出するようテーマを決めた。



文房具絵カードを用いた shopping game



A pencil, please.

Ok, a pencil,
here you are.

Thank you.

6年生 “My town is beautiful.” おすすめの場所

単元のゴール：荒川区を知らない先生たちに、荒川区のおすすめの場所を知ってもらう。

指導の工夫：子どもたちが自分の考える荒川区のおすすめの場所を『本当に伝えたいこと』として表現できるように、今年度から本校に着任した先生たちを紹介する相手に設定した。

主な成果：紹介する相手を荒川区について知らない先生方に設定することで、子どもたちは荒川区のことを知ってもらうという目的意識をもち、既習の語句や表現を用いて主体的におすすめの場所を紹介することができた。教師から「荒川区のことがよく分かった。」と感想を伝えられ、英語でのコミュニケーションに達成感を感じていた。

グループによるおすすめ場所の紹介



We have
Arakawa nature
park in Arakawa.
I like marathon.
I can enjoy
cycling.

荒川区のすてきなところがよく分かりました。

